



新校長挨拶

校長就任にあたって



古田 十

本年より杉浦前校長から引継ぎ校長に就任いたしました古田です。私は30歳過ぎに子供を連れて2001年に入校しました。麻生ラグビースクールの「次代を背負う若者作り」をスローガンにした活動に共感し20年余りをこのラグビースクールで過ごしています。

ラグビースクールは子供たちにとって見知らぬ大人（コーチ）との関わりができることで社会性が養われ、仲間や対戦相手に対するリスペクトを知り、時には厳しい練習や試合での経験などをおして多くのことを学ぶ場になっています。保護者にとってはスクール活動への関わりにより新たなコミュニティが生まれるとともに、ご自身のお子様の応援をおして仲間の子供たちへの愛情が芽生え、チームの応援に一喜一憂することでスクールとの一体感、家族の絆が強まっていきます。

私たちは選手・保護者・コーチの「三位一体」を目指しています。保護者のみなさまには可能な範囲でグラウンドでの練習以外のお手伝いをお願いしています。また私たちはスローガンに掲げるように勝利至上主義を求めません。他方、試合に「勝つ」ことで自身、チーム全員で達成感を味わってもらいたい。コーチたちはそのためのサポートを惜しみません。コーチ一同、子供たちに充実した小学校、中学校時代を過ごしてもらおう一助になればと願っています。

依然としてコロナの影響は残っています。しかしながら、合宿や遠征、対外試合、スクール内のイベント、コーチ間及び保護者の皆さんとの交流など、かつての通常の活動にできる限り戻していきたいと考えます。

そのためにはコーチをはじめ保護者のみなさまのご協力無くしては成り立ちません。みなさんでよりよいスクールを作っていきましょう！

前校長挨拶

5年間ありがとうございました

第11代校長 杉浦 輝明

昨年12月をもちまして校長を退任いたしました。在任中は元気の良いスクール生たち、ラグビー愛にあふれたコーチや保護者の皆さまを始め、当スクールに関わっていただいた全ての方々からの温かいサポートのもと、古田新校長にボールを繋げることが出来ました。この場を借りまして心から感謝を申し上げます。

うーん、思い返すとこの5年間はコロナ振り回されて満足に活動が出来ないことだらけ。しかし、この状況はゲームコンディションと同じで、我々にはアンコントロールに近い。その中でいかに自分達らしく仲間と繋がりながら、「楽しく」ラグビーが出来るのか、「ラグビー憲章」の素晴らしさを伝えるためにはどうすればいいのか、を単身赴任先の札幌でうんうんと唸っていた日々が懐かしい。しばらく！？スクールからは離れますが、これからも麻生らしくラグビーを楽しむみんなを応援していきたいと思っています。5年間本当にありがとうございました。またどこかのグラウンドでお会いしましょう！

2022年度各学年保護者代表の皆様のあいさつと活動報告

2022年は、日大グラウンドでの練習が3年ぶりに再開することができ、麻生ラグビースクールの活動が通常に戻りつつあることを実感した1年でした。

保護者の皆様には、練習時の誘導や感染対策など、様々なスクールの行事や活動に積極的に参加くださり、感謝申し上げます。

以下、各学年保護者代表の皆様からの活動の報告とあいさつです。



6年

6年保護者代表 村松 朋彦

新型コロナウイルス対応が徐々に緩和されつつある昨今、コーチの皆様のおかげで県大会、交流戦、夏合宿、ミニ合宿、餅つきなどコロナ前には当たり前の様に行っていた行事を行う事が出来た1年だったと思います。これは卒業する6年生にとって本当にありがたいことだと思います。昨年からあと何回みんなと一緒に練習ができるだろう？と数えていましたがもうあと数日で卒業式。最後は「いい式だったね」と思える卒業式にしたいと思います。



5年

5年保護者代表 星野隆樹

2020年初めからの新型コロナによる活動自粛からいろいろな活動が動き始めた2022年でした。5年生保護者の皆様には日頃からのご協力感謝申し上げます。

5年生担当の最大のイベントは3年ぶり開催の夏合宿でした。通常は3年生以上となりますが、新型コロナの状況を見て、5、6年生のみの開催となりましたが、無事開催でき、これも担当学年の5年生保護者の皆様だけでなく、6年生保護者の皆様もたくさん菅平にお越しくださり、サポートいただき大変助かりました。

また、この2年間ZOOMでの開催だった学年のコミュニケーションも、懇親会などのイベントを開催でき、子どもたち、コーチ、保護者の交流を深めることができよかったです。

また、日常の日大グラウンドでの練習時の交通誘導が保護者の担当になり、機会を重ねるごとにスムーズになりました。

最後に2023年度は活動が完全復活できることを願っています。



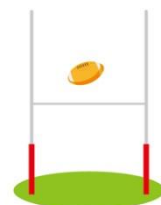
4年

4年保護者代表 石田

四年生保護者のメインイベントは夏前に行うバザーでした。準備期間が短い中で、各保護者の皆様が積極的にお手伝いいただき、当日の運営もスムーズに行うことができました。他にも、運動会のお手伝いや日々の日大Gでの誘導など行ってきました。

懇親会はバーベキューもできるフィールドストレッチで行いました。大人がお酒を楽しんでいると、汗だくではなく池に落ちてびしょ濡れの子供たちに、まだまだ幼さを感じ、大笑いしてしまいました。

団結力が高まった中で行った県大会では、四年生は両チームとも優勝という快挙を成し遂げました。試合の中で成長していく子供達をととてもうれしく感じていました。日頃からのコーチ達の熱心な指導のお陰だと思っております。保護者の方々も様々な活動でサポートいただきありがとうございました。



3年

3年保護者代表 神下

コロナ禍で始まったラグビースクール活動ですが、年を経るごとに少しずつ活動が戻ってきたと実感しています。昨年より、日大のグラウンドでの練習を再開できたことは大きな節目となったと思います。息子は年長からお世話になっておりますが、3年生になり、連れてこられている、から、自分でラグビーを練習しに来ている、という意識の変化がありました。そうした中、立派なラグビーボールの立っているグラウンドで練習できることは、子供のモチベーションを大いに高めてくれていると思います。ご尽力頂いたスクール関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

3年の担当イベントは千羽鶴です。コロナが始まり、日大の応援に行けなくなった代わりに子供達から（ご父母から？）の鶴を贈るものですが、各学年の保護者代表の皆様に配布、回収をお願いし、本当に千羽の鶴を送ることができました。日大ラグビー部に応援のメッセージが届けばいいなと思っています。ご協力いただいた皆様、有難うございました。

子供たちが楽しんでラグビーを思う存分できるように、微力ながらサポートしていければと思っています。



2年

2年保護者代表 黒川

2年生保護者代表のお役目をいただき、この1年間スクールとの密接なつながりの中で活動できたことで知見が広がり、また学年を超えた保護者との親睦もとても有益でした。

3年生以上の保護者の皆様には、イベント運営から練習時の立哨までお世話になりっぱなしで恐縮の至りでした。子の学年があがるにつれて担うべき保護者の責務を皆で自覚しつつ、和やかな雰囲気醸成し助け合うことが叶えばと願っています。

せっかく企画したBBQは子供間の感染が拡大した時期と重なったことから断念しましたが、お餅つきの日によりやく自由な交流をすることができました。またこの日、ミニラグビーの希望ポジションを発表する子供たちの恥じらいと期待が入り混じる姿を見て、ラグビーという名の追いかけっこに夢中だった遠い小さな背中が脳裏を去来しました。



1年

1年保護者代表 長谷川

コロナ禍も三年を経過しましたが、制限のある生活のなかで相変わらず苦労が絶えない一年でした。そのようななか、一年生保護者の皆様には日頃からスクール活動へご協力いただき感謝申し上げます。

さて、子供達に目を向けると小学校での新しい生活がスタートし、慣れない授業や友達作りなど、不安な日々を送るなかで麻生RSでの変わらない交友が、どれだけ安心出来る場になったかは想像に難くありません。

保護者代表の立場としては、スクール運営を内側から見ることによって、今までは見えなかった部分が鮮明になり、保護者の協力抜きには成り立たないものだと改めて実感しました。

今期をもって保護者代表を退くこととなりますが、いち保護者としてスクール・コーチへの変わらない支援と子供達のバックアップを今後も続けてゆく所存です。

一年間ありがとうございました。



幼稚園

幼児クラス保護者代表 岩田任子

幼児クラスではまだまだ保護者の手が必要となるなか、本年度も多くの保護者の方にサポート頂くことが出来ました。また、各試合でのお手伝い等に関しましても快く手を挙げてくださりご協力頂けたこと非常に感謝しております。

今年度は初めて幼児クラスも日大グランドでの練習に参加することが出来ました。子どもたちは奇麗で広いグランドで練習できることをとても喜び、また多くの刺激を受けたのではないかと思います。(交通誘導をご担当頂いた、上級生の保護者の方々本当にありがとうございました。)

次年度も多くの大会、イベント等が開催され子供たちの活動の場が増えることを期待いたします。



2023年年明けからのスクールの活動報告

★ 3年ぶりに戻ってきた餅つきのにぎわい ★

2月26日（日）、3年ぶりの餅つきが開催されました。

当日は晴天に恵まれ風もなく、絶好の餅つき日和。

6年保護者の皆様が中心で準備し、これに当日は5年保護者が加わるかたちとなりました。今年はコロナで中止となっていたのですが、例年の豚汁はなし、お餅もビュッフェ形式をやめ、パック詰めでの提供となりました。さらに温かいココアの提供があります。

餅米を炊く係、ついたお餅を丸めて味付けをする係、外で餅をつくコーチと保護者、それぞれ持ち場について、手際よくスムーズに連携を取りながら次々とお餅が出来上がります。今回は17臼分のお餅をつきます。味は、あんこ、きなこ、カラムーチョ、チップスター、のり、しょうゆが用意され、1パック3個づめで配られました。

お餅を丸める作業が落ち着いた時間に、お母さま方も「お餅をつかせてほしい」と外に出て、お餅をついていました。「よいしょ」「はい」「よいしょ」「はい」の掛け声とともに、杵をおろして餅をつき、横の人がタイミングを見計らっては餅をこねます。

10時を過ぎるとミルキーの子どもたちが集まり始めました。順番に子どもたちが並んで、1人5～10回お餅をつきます。杵が重くふらついてしまう子ども、臼のふちをたたいてしまう子もいましたが、徐々に慣れてきて、上手にお餅をつくことができました。そこは、保護者が上手く周りに注意を払って誘導していました。

広場の陽だまりに設置されたスペースには、子どもたちや保護者が集まって、餅を食べており、食べ終わった子供たちは、広場を駆け回ったり、ラグビーボールで遊んだり、思い思いに過ごしていました。

12時を回ると、食べ盛りの高学年の子どもたち、DAGSの子たちがやってきました。

そこで急遽、高学年の子どもたちように豚汁を作ることになりました。子どもたちにはお餅はもちろん、豚汁も好評でした。

17臼の餅は参加者で完食し、3年ぶりに戻ってきた餅つきイベントのにぎわいでした。準備から支えてくれた6年保護者の皆様、サポートの5年保護者の皆様、お疲れ様でした。大変楽しいイベントありがとうございました。

このままコロナが収束し、来年度も引き続き開催できることを願っています。

（5年 星野）





▲もち米を炊く係の保護者の皆様



▲手際よくあんこ餅を作る保護者の皆様



▲子どもたちは餅をつき、保護者の皆様で味付けをしたお餅をおいしくいただきました。



▲感染対策に気を付けて、順番に餅をつく子どもたち。



▲陽だまりで餅をいただく。



▲何味のお餅にしようかな。

★ミニ合宿でファイナルカップに向けた実力アップ★

6年生は2月25日～26日、黒川青少年センターに宿泊の1泊2日のミニ合宿を行いました。

25日は日大グラウンドにて練習，練習後近くの公園に移動して食事，そこから歩いて栗平の入浴施設に移動して入浴し，疲れを癒しました。さらに保護者の車に分乗して黒川青少年センターに移動して，夕食は6年保護者の皆さんで作ったカレーをいただきました。

6年生はファイナルカップに向けて，良い練習ができましたし，5年生は6年生の胸を借りて，実力アップを図れました。また，5，6年生で交流を深めるよい機会でした。

サポートいただいた6年保護者の皆様，コーチの皆様おつかれさまでした。



▲ミニ合宿の練習後，公園に移動し食事中。



▲夕食のカレーをおいしくいただきました。



▲ミニ合宿に参加した5年、6年の夕食の様子。

★激闘！ファイナルカップ★

3月4日、5日、善行の神奈川県立体育センターで、ファイナルカップが開かれました。毎年3月に、東北のラグビースクールを招待し、県下のスクールの6年生が繰り広げる小学校最後の真剣勝負です。わが麻生は、初日の予選リーグで北上（岩手県）と川崎市と対戦。2日目はボウルトーナメントに回り、1回戦、釜石（岩手）に勝利、2回戦で茅ヶ崎に敗れたものの、3位決定戦で平塚市に勝利し、3位となりました。

カップトーナメントの決勝は横浜が田園を破り優勝しました。

公式戦とは別に交流試合も開かれました。6年生は、皆試合に出場し、最後まであきらめず、力の限りを振り絞って健闘しました。



▲6年生、3位決定戦で勝利後、応援の5年生が喜ぶ



▲すべての試合を終えて、5、6年で記念写真